

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	建築音響測定法小委員会		主 査 名：山内 崇 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築音響に関する測定方法について調査および検討を行う。 ・ フランキング成分や遮音欠損を把握するための測定方法について検討を行う。 ・ A 特性による遮音性能評価に関する検討を行う。 ・ 音響数値解析を利用した測定法の改善に関する検討を行う。 ・ 19 年度：音響インテンシティ法の検討：実験結果の検討および精査。A 特性評価：測定上の課題整理。数値解析による測定法改善：テーマ、方向性に関する検討 ・ 20 年度：A 特性評価：測定上の課題整理。数値解析による測定法改善：共同実験、解析を実施。シンポジウム企画検討 ・ 21 年度：前年度からの継続した検討および新たな取り組みに関する議論。 ・ 22 年度：全体取りまとめ 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：山内崇 (戸田技術開発セ) 幹事：杉江聡 (小林理研)、竹林健一 (鹿島技研) 委員：曾田祐 (長谷工技研)、赤尾伸一 (三井住友技研)、稲留康一 (奥村組技研)、古賀貴士 (鹿島技研)、酒巻文彰 (永田音響設計)、坂本慎一 (東大生研)、田中学 (日総試)、富来礼次 (大分大)、平光厚雄 (国総研)、宮島徹 (清水技研)、矢野博夫 (千葉工大)、渡辺充敏 (大林組技研)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2020 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. A 特性による遮音性能評価を行う際の測定上の課題について、実測や試算結果をもとに検討し整理した結果に関し、騒音制御工学会春季研究発表会での報告の是非について協議、検討した。 2. 音響数値解析による測定法改善について、数値解析小委と協働を視野に検討テーマ、方向性について検討をすすめた。また、コロナ渦での実験の進め方についても検討、協議を行った。 3. シンポジウム開催の可否について協議、検討した。
委員会活動の問題点・課題	COVID-19 による制約はあったものの、委員会発足時の目標に従い活動を実施しているため、特に問題はない。

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・~~最終年度評価~~)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p><u>1. 遮音性能の単一数値評価量の適用に関する情報収集</u> 20 年度: A 特性による遮音性能評価を行う際の測定上の課題について、実測や試算結果をもとに検討し整理した結果に関し、騒音制御工学会春季研究発表会での報告の是非について協議、検討した。</p> <p><u>2. 音響数値解析を利用した測定法の改善に関する検討</u> 20 年度: 音響数値解析による測定法改善について、数値解析小委と協働を視野に検討テーマ、方向性について検討をすすめた。また、コロナ渦での実験の進め方についても検討、協議を行った。</p> <p><u>3. シンポジウムの企画</u> 20 年度: シンポジウム開催の可否について協議、検討した。その結果、実験、解析の進捗状況、社会的情勢を鑑み、延期することとした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。